

報道関係各位
プレスリリース

2025 年 6 月 27 日
株式会社ゼロボード

ゼロボード、日本ラグビーフットボール協会より CO2 排出量算定支援業務を受託

企業のサステナビリティ経営を支援する株式会社ゼロボード（東京都港区、代表取締役：渡慶次道隆、以下 当社）は、このたび、公益財団法人 日本ラグビーフットボール協会（東京都港区、会長：土田雅人 以下 JRFU）より、2025 年に実施される同協会主催試合の CO2 排出量算定における支援業務を受託したことをお知らせします。初回は、6 月 28 日（土）に開催される「リポビタン D チャレンジカップ 2025 JAPAN XV vs マオリ・オールブラックス」の試合における CO2 排出量の算定に取り組みます。

JRFU は、2024 年 10 月に環境サステナビリティ推進宣言を公表し、国連の「Sports Climate Action Framework」への署名を実施。2025 年 3 月に公表した「中期戦略計画 2025-2028（中計）」においても環境サステナビリティへの KPI を設定し、CO2 削減の取組を推進するだけでなく、外部ステークホルダーとの連携を行い、JRFU のサステナビリティの取組をパートナー企業・自治体等へ拡大させていくとしています。

当社は、JRFU のスポーツ／ラグビーにしかできない啓発活動に重点を置く考えや、選手・ファン・スタッフなど全てのステークホルダーのためにラグビーの価値を守り、高め、伝える姿勢に共感し、日本代表戦の環境に配慮した試合運営に協力することで、国際社会における日本ラグビーの価値向上と持続的なスポーツ振興に貢献したいと考え、ご支援することになりました。

当社はこれまでも、GHG（温室効果ガス）排出量算定・可視化ツールとサステナビリティ領域の専門知見を組み合わせ、数々のプロスポーツ試合や、大手マスメディアのカンファレンス運営における CO2 排出量算定を支援してまいりました。これまでの支援実績で蓄積した知見を生かし、JRFU の CO2 削減取組に貢献してまいります。

■ 日本ラグビーフットボール協会について

社 名：公益財団法人 日本ラグビーフットボール協会
所 在 地：東京都港区南青山 1 丁目 1-1 新青山ビル 東館 5 階
代 表 者：会長 土田雅人
設 立：1926 年 11 月 30 日
U R L：<https://www.rugby-japan.jp/>

■ 会社概要

社 名 : 株式会社ゼロボード | Zeroboard Inc. (<https://www.zeroboard.jp/>)
所 在 地 : 東京都港区三田三丁目 5-27 住友不動産東京三田サウスタワー10 階
代 表 者 : 代表取締役 渡慶次道隆
設 立 : 2021 年 8 月 24 日
事 業 内 容 : ESG 関連データの収集・管理・開示支援の総合クラウドソリューション「Zeroboard Sustainability Platform」の開発・提供／サステナビリティ経営に関するコンサルティング／ユーザーコミュニティ「All Aboard!」の運営

■ Zeroboard Sustainability Platform の概要

ESG 関連データの収集・管理・開示支援の総合クラウドソリューションです。豊富なプロダクトラインナップによって、ESG 開示をはじめとするサステナビリティ経営に必要なプロセスをシームレスに支援します。

- GHG（温室効果ガス）排出量算定と環境項目管理クラウドサービス「Zeroboard」
- ESG 法定開示クラウドサービス「Zeroboard ESG」
- バイヤーからサプライヤーに対する SAQ（Self-Assessment Questionnaire・自己評価アンケート）の収集・管理を効率化するクラウドサービス「Dataseed SAQ」



これらのプロダクトを中心に業界特化型のプロダクト、各種オプション機能、制度対応や複雑な算定のためのコンサルティングを提供し、企業のサステナビリティ経営を支援しています。

【企業向けウェビナー開催中】

当社では、脱炭素経営のための企業向けウェビナーを毎月開催しています。国内外の脱炭素の最新動向や、「Zeroboard」をはじめとした各種ソフトウェアの活用方法などを解説しておりますので、ぜひお申し込みください。詳しくは当社ウェブサイトのイベントページをご覧ください。

【本件に関するお問合せ先】

各商品・サービスについて（営業本部）sales@zeroboard.jp
報道やご取材について（広報）pr@zeroboard.jp